

むこう...ふぁみさぽ

20th Anniversary

向日市ファミリーサポートセンターは 20 周年を迎えました！

ファミリーサポートセンター事業は、「育児の手助けがほしい人」と「手助けをしたい人」が会員になり、地域住民の皆さんで子育てを助け合う相互援助活動ですが、本市でも皆さまが安心して子育てができるようにと設置した『向日市ファミリーサポートセンター』が今年で 20 年を迎えました。

昨今、全国的に少子化や核家族化が進行していることに加え、特にこの 3 年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、地域における人と人とのつながりがますます希薄化してしまい、孤立感や子育てで不安を抱える保護者の方や家庭が少なくありません。

こうした状況の中、ファミリーサポートセンターの活動が大幅に減少していた時期もありましたが、現在、依頼会員・援助会員・両方会員を合わせて 570 人の方々に登録いただき、昨年度はコロナ禍前とほぼ同じ 994 件の活動実績となりました。

今後におきましても、ファミリーサポートセンター事業が「みんなで支え合う」地域ぐるみの子育ての実現に寄与できるよう、本事業をより一層推進し地域での相互支援の輪を更に広げてまいります。

最後に、これまで長年、本事業を支えていただきました会員の皆様に、深く敬意を表し、心より感謝申し上げますとともに、引き続き、安心して子育てができる「人と暮らしに明るいやさしいまちづくり」のためにご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私の挨拶に代えさせていただきます。

向日市長

安田 音



おでかけ学習会
『行って学ぼう
子どもの安全』



フォローアップ講座
『今と昔の妊娠・出産・
子育て事情の違い』



消防署での救命講習



ふぁみさぽ体験
『ちょこっと列車』
4 年ぶりに開催します。
「子どもを預けてみたい…
でもちょっと心配…」と思
われる方のために、お顔合
わせからお子さんのサポー
トまで『ファミサポ』の体
験ができます。

後期にはこんな
事業も予定して
います♪



新 1 年生へ贈る
お祝いカード作り

皆さまのご参加
お待ちしております

～かんたん手作りおもちゃのご紹介～

子育てサポーター養成講座『子どもの遊び』の中で、牛乳パックとペットボトルキャップを使ってカスタネットを作りました。お子様と作ってみてはいかがでしょうか♪

【材料】

- ・牛乳パック
- ・ペットボトルキャップ 2 個
- ・輪ゴム 2 本
- ・折り紙
- ・マスキングテープやシール
- ・セロハンテープ
- ・のり

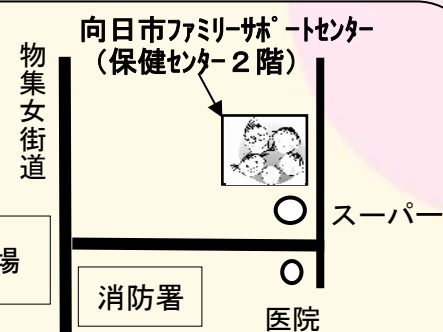
【作り方】

- ①牛乳パックを 7 cm×14 cm の長方形に切り取って、半分に折り目をつける。
- ②折り紙やマスキングテープ、シール等を貼って飾り付ける。
- ③内側の両端にキャップをセロハンテープでしっかりとめる。
- ④真ん中に 3 mm ほどの切れ目を入れて輪ゴムを通したら、出来上がり！



向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002
向日市寺戸町東野辺 31
保健センター 2 階
TEL/FAX (075) 932-7831



ファミサポ 20 周年

向日市ファミリーサポートセンターは、地域の皆さまの温かい気持ちによって支えられ、今年で20周年を迎えることができました。設立からこれまでにおよそ1,280組の会員がつながり、地域の中で子育て支援の輪を広げていただきました。ファミサポを通して出会われた皆さまの活動をご紹介します。



■地域とのかかわりの中で

援助会員 まつい えりこ 松井恵莉子さん



るい 琉偉さん

援助会員の松井恵莉子さんは、琉偉さんが9か月の時から週に一回自宅に預かっておられます。松井さんからセンターへ届く報告書からは、公園へ出かける様子や、松井さんのご家族の方や近くに住むお孫さんとのほのぼのとしたエピソードが報告されます。

琉偉さんが季節の移り変わりとともに成長され、地域とのかかわりの中で育まれる様子は、温かな支援のつながりを感じます。

～ある日の報告書から～

今日はお天気が良かったので公園へ行き、竹の径までお散歩しました。途中、葉っぱやドングリを拾ってがんばって歩きましたが、帰り道泣いちゃったので抱っこすると眠ってしまいました。がんばったので眠たかったんですね。



■会員同士のつながり

設立当初から援助会員として様々な家庭を援助してこられた金内恵美さん。依頼会員の土田恵利さんもその一人で、梨紗さんが1歳の時に出会い、1年半の活動がありました。

それから5年の月日が流れ、梨紗さんの小学校入学を機に再び利用を考えられた土田さんから、ファミサポに連絡がありました。

「できることなら金内さんに依頼をお願いしたい」と再会を望まれましたが、当時、活動を控えられていた金内さん。しかし土田さんのお気持ちを伝えたところご快諾いただき、5年ぶりの再会を果たしました。

顔合わせでは当時を懐かしみ、梨紗さんと修史さんの成長とともに喜び合い、感無量の再会となりました。

援助会員 かねうち えみ 金内恵美さん

依頼会員 ちただ えり 土田恵利さん



りさ 梨紗さん・しゅうじ 修史さん

■依頼会員を経て援助会員として活動

平成19年に依頼会員としてファミサポを利用し始めた藤阪新子さん。当時は二児の子育てに奮闘する毎日で、「援助会員の方に助けてもらい感謝しています」と当時を振り返られます。

2人のお子さんが高校生になったことを機に「自分が助けてもらったので今度は役に立ちたい」と昨年、養成講座を受講し援助会員に登録。

「同じ地域で子育てをしてきた一人として、依頼会員の方が安心して利用できるよう子育てを応援したいと思っています」と小学生の送迎や在宅ワーク中の預かりなど様々な活動をされています。



援助会員 ふじさかしんこ 藤阪新子さん



依頼会員 すずき なつみ 鈴木菜津美さん



かの 果乃さん

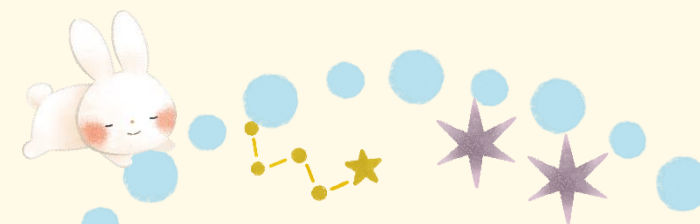
■在宅ワーク中の心強い存在

コロナ禍で保護者の働き方が変化し、在宅ワーク中に別室で子どもを預かる依頼が増えました。依頼会員の鈴木さんも藤阪さんに果乃さんのサポートを依頼されています。

「サポートしてもらっている間は、仕事の時間が確保されるのでとても助かっています」と鈴木さん。

初めころはお母さんから離れなかった果乃さんですが、今では「ファミサポさんが来るよ」と伝えると「やったー、やったー！」と喜んでくれるようになりました。

藤阪さんも果乃さんの成長を見守ってくださっています。



力になってくれる人が同じ地域にいることは、子育て中の方にとって大きな心の支えになります。

人と人をつなぎ、子育て支援の輪を広げ、安心して子育てできる環境と地域づくりをめざし、ファミリーサポートセンターは次の5年へ向けて歩みを進めていきたいと思っています。

子どもたちの健やかな成長を願い活動できますよう今後とも皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

